

「水素活用型社会を見据えた 水素の円滑な供給体制を考える」

東京都市大学「水素社会研究会」では、本学の文理の研究総合力、また永らく推進してきた水素エンジン等の関連研究の強みを活かし、将来の水素活用型社会の像について検討するセミナーを定期的で開催しています。キックオフセミナーと第2回セミナーでは、自動車会社をはじめ水素エンジン等の水素活用型製品を生産・普及させる事業者や行政関係者をお招きし、円滑な普及やあるべき支援政策・制度等を議論してきました。

それらを礎として、今回は「水素の製造と供給」をメインテーマにして、水素の製造普及事業者、水素活用型製品開発の事業者と関連する行政の方をお招きし、円滑な水素の供給について議論いたします。

参加費
無料

Date 2026年6月16日 火
15:00 ~ 17:00

Place TCU Shibuya PXU
(東京都市大学 渋谷パクス)

東京都渋谷区
道玄坂1丁目10-7
五島育英会ビル8階
渋谷駅徒歩5分



お申込み | お問い合わせ

右記QRコードあるいは下記URLから必要事項をご記入の上、お申し込みください(定員:先着70名)。



<https://peatix.com/event/5003676/>

溝口 典仁

岩谷産業株式会社
技術・エンジニアリング本部
開発部 部長



環貫 陽

株式会社竹中工務店
環境共生・エネルギー本部
主任



小松 賢二

ヤマハ発動機株式会社
技術・研究・デザイン本部
シニアアドバイザー



田中 真里

東京都産業労働局
産業・エネルギー政策部
水素エネルギー事業推進担当課長



西山 敏樹

東京都市大学
都市生活学部・
大学院環境情報学研究所
教授



インプットトーク

水素の製造と供給に関する最新事情と抱える課題

登壇者：

- 溝口 典仁 (岩谷産業株式会社 技術・エンジニアリング本部 開発部 部長)
- 環貫 陽 (株式会社竹中工務店 環境共生・エネルギー本部 主任)
- 小松 賢二 (ヤマハ発動機株式会社 技術・研究・デザイン本部 シニアアドバイザー)
- 田中 真里 (東京都 産業労働局 産業・エネルギー政策部 水素エネルギー事業推進担当課長)

パネルディスカッション

円滑な水素の製造と供給の実現に向けた事業課題と支援政策

パネリスト：

- 溝口 典仁 (岩谷産業株式会社 技術・エンジニアリング本部 開発部 部長)
- 環貫 陽 (株式会社竹中工務店 環境共生・エネルギー本部 主任)
- 小松 賢二 (ヤマハ発動機株式会社 技術・研究・デザイン本部 シニアアドバイザー)
- 田中 真里 (東京都 産業労働局 産業・エネルギー政策部 水素エネルギー事業推進担当課長)

モデレーター：

- 西山 敏樹 (東京都市大学 都市生活学部・大学院環境情報学研究所 教授)

※ プログラム終了後、登壇者等を交えた交流会（軽食あり）を実施いたします。是非ご参加ください。

登壇者・パネリスト・モデレーター 略歴

氏名	略歴
溝口 典仁	2007年4月岩谷産業(株)入社。近畿支社にて産業ガス・機械の営業を通じて高圧ガス分野の知識・経験を積む。2020年には(公社)関西経済連合会へ出向し、大阪・関西万博を通じた産業振興や水素分野に関する政策提言作りに従事。2022年4月岩谷産業(株)帰任後は、水素燃料電池船「まほろば」および船舶用水素ステーションの開発・運営に関与。現在は、液化水素モビリティの開発や福島県浪江町や北九州市の水素プロジェクトにも従事しながら水素社会実現に向けて取り組んでいる。
環貫 陽	(株)竹中工務店にて水素利活用技術全般の分野リーダーとして従事し、建物への水素システムの実装を推進してきた。特に、建築分野における水素活用の社会実装と普及拡大を目指し、水素ステーションと建物とを連携させたエネルギー供給システムの開発に取り組むとともに、小型可搬型水素吸蔵合金の開発など新たな供給方式の創出にも注力している。さらに、エネルギー効率の向上や運用最適化を図り、建物における水素の有効活用技術の高度化を推進している。
小松 賢二	名古屋工業大学大学院工学研究科機械工学専攻修了。1992年ヤマハ発動機(株)に入社。AM（自動車関連事業）事業部に配属後、主にヘッドシリンダ設計業務を担当。これまでにAM第1技術部部長、AM事業部事業部長、AM開発統括部統括部長、技術研究本部本部長等を歴任。2026年3月より現職。
田中 真里	2006年東京都に入都。主税局や福祉保健局、東京都利島村役場勤務を経て2022年より産業労働局に所属。雇用就業対策に従事後、2023年7月より現職。グリーン水素の社会実装を図る分野に従事し、2025年10月にグリーン水素の製造プラントを大田区京浜島に整備したほか、東京におけるパイプラインを含めた水素供給体制検討協議会の運営等を担当。
西山 敏樹	博士（政策・メディア）。1976年東京生まれ。慶應義塾大学総合政策学部社会経営コース卒業、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任准教授等を経て現職。専門領域はユニバーサルデザイン、モビリティデザイン、社会調査法等。交通用車両の開発に関する大型プロジェクトを多数経験。研究や実務の成果の表彰も合計27件にのぼる。関連の著書も32冊にのぼる。近年は、路線バス事業（経営問題・運転士不足問題等）をはじめテレビ・ラジオ・新聞・インターネットメディアへの出演回数も多数にのぼる。